

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 常創戦略課

シート No.： 11

作成日： 2025.5/15

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	I 市民参画の推進	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 参画と協働の仕組みをつくり、活動の輪を広げる	令和5年度の道の駅常総の開業やアグリサイエンスバレー常総での進出企業の操業開始などにより、本市に新たな人の流れが創出されました。人口減少、少子化に的確に対応していくため、この機会を好機と捉え、本市の魅力を内外に向けて発信し、交流・関係人口や移住・定住人口の増加を目指します。	・交流・関係人口や移住・定住人口の増加に向けて、市民の皆様のシビックプライド※醸成と常総市の魅力度向上を目指します。 ・SNSによる魅力発信や、ロゴマークなどの魅力発信ツールを作成し活用することで、本市のイメージアップや知名度向上を図ります。 ・市民の皆様が参加できるイベント等を開催し、本市の魅力の発見や創造することで、市への愛着や誇りを高め、シビックプライドの醸成を図ります。
	施策	5 情報発信		
	施策内容	シティプロモーションの推進		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	第2期常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略		
事務事業名	シティプロモーション事業	※「シビックプライド／Civic Pride」は、株式会社読売広告社の登録商標です。		

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 6 予算額	R 6 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R 6 活動・事業内容	指標（単位）	R 6 目標値	R 7 目標値		
			R 6 実績値	R 8 目標値		
シティプロモーション パンフレット制作 （R 6・7・8）	本市の魅力を効率的に伝えるためのパンフレットを作成し、道の駅などの民間集客施設への配架や本市へ訪れた方へ配布します。	パンフレット配布部数（部）	20,000	20,000	243 千円	232 千円
			12,759	20,000		
ロゴマークの活用促進 （R 6・7・8）	市民の皆様をはじめ、企業、団体など本市に関わる全ての方々と協働でプロモーションを展開していくため、広報紙やチラシを配布し利用を促進します。	利用件数（件）	15	20	15 千円	15 千円
			45	25		
SNSによる情報発信 （R 6・7・8）	常総市へ訪れたい、住んでみたい、住み続けたいと思ってもらきかけとなる本市の魅力をSNSを活用して発信します。	SNSフォロワー数（人）	2,500	4,000	130 千円	130 千円
			1,896	5,500		
体験＋ヒーロー作りワークショップ （R 6・7・8）	市内の小学生とその保護者を対象に、職業体験などとヒーロー講座を掛け合わせたワークショップを実施します。	ワークショップ参加者数（人）	40	20	69 千円	80 千円
			38※	20		
			※参加者数は定数には達していたが、当日キャンセルが発生したため		千円	千円
シティプロモーション 動画制作 （R 6）	本市のもつ魅力を効果的に発信するためのPR動画を制作します。	動画制作数（本）	6	—	5,387 千円	5,363 千円
			8	—		
PR活動 （R 6・7・8）	本市の知名度やイメージアップを図り、認知度を向上するため、来場者参加型のPRブースの設置やノベルティグッズを配布します。	イベント参加者数（人）	100	110	246 千円	247 千円
			278	120		
シティプロモーション アンケート調査 （R 6・7・8）	効果的なプロモーションを展開していくため、市民アンケートを実施し、シティプロモーション活動の効果測定を行います。	アンケート回収率（％）	20	20	27 千円	27 千円
			25	20		
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R 6 実績値
観光入込客数	1,056,000 人以上を維持	R7.8 頃に茨城県観光客動態調査公表
転入転出者数	転入超過	転出超過

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
体験＋ヒーロー作りワークショップにおいては、市民・事業者・市が一体となって取組み、参加者からは高い評価が得られたことから、シビックプライドの醸成へつながる取組みであると考えます。 キャッチコピー・ロゴマークの定着、活用促進及びパンフレット、SNS、動画などの魅力を発信するツールの活用により、市の知名度・認知度向上が図られていると考えます。 一方で、さらに発信を強化していくためには、流入経路を増やし、最終的には一元的に情報を得ることができるポータルサイトなどの着地点を構築することも重要であると考えます。 また、継続的に事業を実施するためには、安定的な財源確保が課題です。	☒ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			
	今後も市の知名度・認知度向上のために、情報発信を強化し、交流・関係人口の増加を目指します。 また、市民の皆様、事業者と連携し、お互いの資源を生かしながら、市の魅力の再発見や新たな価値創造の機会を創出し、市への愛着・誇りを高め、シビックプライド醸成を図り、移住・定住人口の増加につなげていきます。			